○　未来の青年農業者育成事業

【令和３年度補正予算　940（－）万円】

＜事業の狙い＞

本市農業において、農業者の減少と高齢化の進展が喫緊課題となっている状況を踏まえ、「①農業経営を志す若者や他産業から農業を志す若者」、「②高校生・大学生」、「③小・中学生」の各段階に対応した研修、教育事業を行うことにより、未来の青年農業者の確保・育成を目指す。

事業内容

１．先進農業者就農支援プログラム　550（－）万円

既に営農意欲を持ち農業を学び始めている者を公募し、これまで学んだ農業経営や生産技術を農政センターの実習ほ場で実践していただき、短期間で「地域の即戦力となる担い手農業者」を育成します。

２．若年層と農業者のマッチング　90（－）万円

農業や地域に関心が高い高校生・大学生等の若年層と農業者をweb上のプラットフォームでマッチングし、交流や農業体験を行う機会を創出することで、就農への意欲を高めるきっかけづくりを行います。

３．次世代向け農育講座　300（－）万円

小・中学生に向けて、本格的な農学の講座や、農政センター等との連携による実習等を通じ、農業を子供達の身近な体験に落としこみ、「気づきと発見」を与えることで、農業への関心を高め、将来的な就農につながるきっかけづくりを行います。

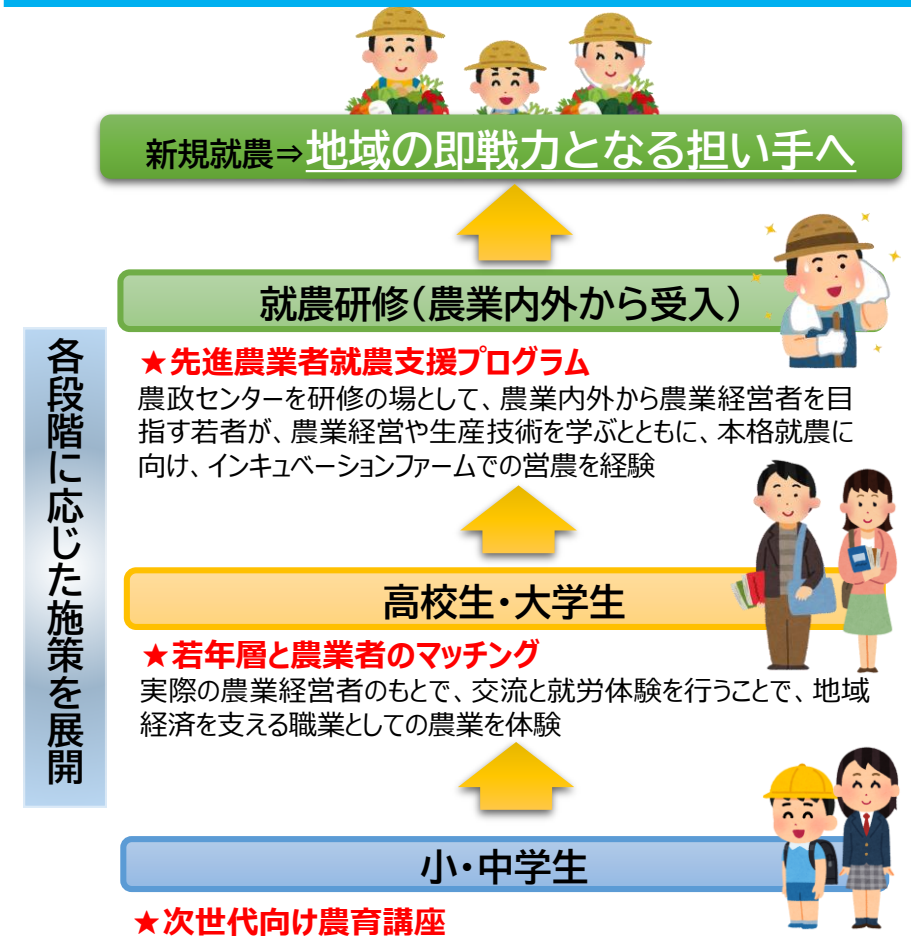
＜事業スケジュール＞

1.の事業：Ｒ3年7月 事業者選定、研修生公募開始
　　Ｒ4年1～12月 農政センターで研修実施

2.の事業：Ｒ3年7月 事業者選定、受入農業者・参加者募集開始
　　9月 参加者受入開始

3.の事業：Ｒ3年7月 事業者選定、受講生募集開始
　　８月 講座開始

事業イメージ



○　千葉市農政センターリニューアルプラン策定事業

【令和３年度補正予算　1,300（－）万円】

＜事業の狙い＞

農政センターは老朽化や、現場の農業者からの指導力の低下などのご意見があること、スマート技術の革新などの環境変化を踏まえ、その機能を強化し、地域の農業者の皆さんにより活用いただけるよう、「農業の成長産業化を支援する現場の拠点」として、リニューアルするため、スマート農業技術を有したアグリテック企業や農業者の技術要望調査などのプラン策定を実施します。

事業内容

農政センターリニューアルプラン策定に向け、以下の内容を踏まえた業務委託を実施します。

（１）アグリテック企業及び農業者に対する要望調査

農政センターをスマート農業技術の実証フィールドとして活用するため、スマート技術を開発する各種企業や、農業者の技術要望等を調査します。

（２）エリア別事業計画の策定

実証フィールドとしての利用、種苗供給、新規就農者等の研修などの各用途に応じ、農政センターのエリア状況を踏まえた活用計画の策定を行います。

（３）施設整備計画の策定

（２）のエリアの状況を踏まえた、施設整備計画の策定を行います。

（４）検討委員会の開催運営

地域の担い手となる農業者や、県、JAなどの関係者で構成される検討会を設置・開催し、リニューアルプラン策定に向けた意見聴取を行います。

＜事業スケジュール＞

R３年7月　事業者選定
　　計画策定業務
　　検討会立ち上げ
　　9月　中間報告
　　11月　農政推進協議会において意見聴取
R4年３月　最終報告

事業イメージ

○ 農政センターの現状

老朽化や未利用ハウスが存在

○　地域農業者の声

農政センターは人が少なくなって指導力が低下しており、不満。

○　アグリテック企業の意見

農政センターという行政のフィールドでの技術実証ができることは魅力的。

「農業の成長産業化を支援する現場の拠点」としてリニューアル

○ スマート農業技術実証フィールド整備事業

【令和３年度補正予算　200（－）万円】

＜事業の狙い＞

農政センターがスマート農業技術の実証フィールドとなることを目指し、これまで行ってきたアグリテック企業へのヒアリング内容を踏まえ、農業者の皆さんが最新技術により触れやすくすることを目指し、農政センター内の既存施設の改修を行います。また、農業者の皆さんに適切に技術を普及するための農業技師の技術力・指導力の強化を行います。

事業内容

1．スマート農業技術実証フィールド整備　135.1（－）万円

本市農業に有望なスマート農業技術を有したアグリテック企業と実証実験を実施するため、農政センター内の一部設備を改修します。

2．農業技師のスマート農業技術力・指導力の強化　64.9（－）万円

経営感覚に優れた農業者の育成に向け、実証実験や販売実績から得られたデータを活用できるよう、農業技師の技術力・指導力の強化を図ります。

＜事業スケジュール＞

Ｒ3年7月 施設改修

農業技師の研修（毎月1回のペースで開催）

9月 アグリテック企業との実証実験開始

R4年３月　成果報告

事業イメージ

1．スマート農業技術実証フィールド整備

・破損個所の修復

スマート農業技術の実証が行いやすい環境を整備

・旧加温設備の撤去等

2．農業技師のスマート農業技術力・指導力の強化

スマート技術やデータ活用等について農業技師の指導力を養成

農業者が適切にスマート技術を活用できるよう普及

○　農業法人参入促進事業

【令和３年度補正予算　2,780（－）万円】

＜事業の狙い＞

本市農業の成長産業化を加速させるため、農業法人や担い手農業者が食品加工業者、流通業者等と連携し、グループで本市に参入する場合の支援、参入に当たり、耕作放棄地を対象とした用地の確保に向けた検証事業など、農業法人参入に関する支援制度をさらに充実させます。

事業内容

1．農業法人グループ参入支援　100（－）万円

農業者と食品加工業者等が連携しグループ参入する場合、農業者の農地の賃借料を支援します。

○補助率：1/2以内

2．農業生産力強化支援事業（グループ参入タイプ）　2,000（－）万円

農業者と食品加工業者等が連携しグループ参入する場合、農業者及び連携する業者双方の施設整備費、機械導入費を支援します。

○補助率：5/10もしくは3/10（上限額2,000万円）

3．耕作放棄地活用検証事業　280（－）万円

一定規模以上で耕作放棄地を所有する地権者に対し、農地を再生する費用を補助した場合に、農業法人等の参入促進につながるかの効果検証をモデル事業として実施します。

○補助率：10/10（上限額140万円/1ha）

4．農業法人参入促進支援業務委託　400（－）万円

企業の農業参入に係るニーズや対応等を踏まえた、各種誘致活動の企画・運営を実施します。

＜事業スケジュール＞

1.の事業：Ｒ3年7月 募集開始

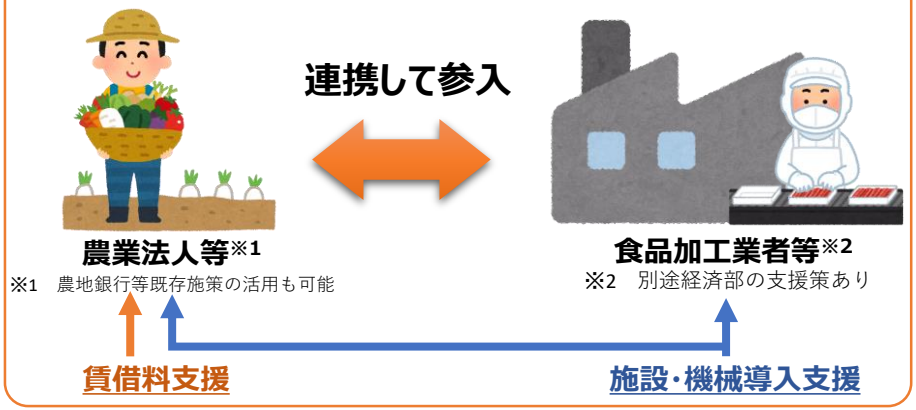
2.の事業：Ｒ3年7月 募集開始 ⇒ R4年3月 事業完了

3.の事業：Ｒ3年7月 事業周知 ⇒ R4年3月 事業完了

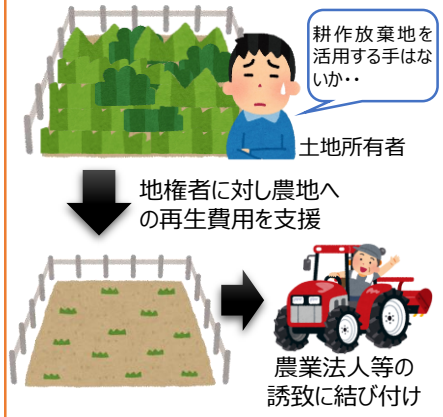
4.の事業：Ｒ3年6月 事業者選定
　　7月 業務委託実施

事業イメージ

○　グループ参入支援のイメージ



○耕作放棄地活用検証



○農業法人参入促進支援

千葉市への農業法人についてPR活動など各種誘致に結び付ける活動を実施